

3 学位の授与

本学大学院の卒業生には、修士の称号を授与します。修士の種類は次の通りです。

専攻区分		修士の名称
観光学研究科	観光学専攻	修士(観光学)
心理学研究科	臨床心理専攻	修士(臨床心理)
スポーツ健康指導研究科	スポーツ健康指導専攻	修士(スポーツ健康指導)

4 修士論文・課題研究審査要領

観光学研究科

事項	修士論文	課題研究論文
ページ数	本文50ページ以上 (1ページはA4横書き40字×30行 フォントMS明朝11ポイント)	本文30ページ以上 (1ページはA4横書き40字×30行 フォントMS明朝11ポイント)
構成要素	先行研究(文献研究) 必須 調査研究(質問紙調査・ヒアリング調査・その他の現地調査) 必須 なお、理論研究の場合は先行研究を十分踏まえること	調査研究 (質問紙調査・ヒアリング調査・その他の現地調査) 必須
執筆要領	日本観光研究学会機関誌に準ずる	日本観光研究学会機関誌に準ずる
審査項目	独創性・明確性・信頼性・妥当性・将来性について各10点満点、計50点満点で評価する。 一論文に対して審査員2名	明確性・信頼性・妥当性・実用性・将来性について各10点満点、計50点満点で評価する。 一課題研究に対して審査員2名
面接試験	作成した論文に対する面接員と作成者間での30分間の口頭発表・質疑を行う。15点満点 面接員2名	作成した課題研究に対する面接員と作成者間での30分間の口頭発表・質疑を行う。15点満点 面接員2名

審査委員及び日程などの詳細は別途決定する。

心理学研究科

(1) 論文審査

・提出された課題研究報告書毎に審査委員を3名選出する。

・当該学生の指導教員以外の1名を主査とし、残り2名を副査とする。

・以下の3つの審査基準について5段階評価を行う。

- ① 構想力: 臨床心理学的テーマに基づき、先行研究を十分吸収し、これを発展させて独自性を示せたか。
- ② 実証性: 研究テーマの理論仮説及び問題提起に対して、統計資料、事例資料、観察資料などを活用して十分に実証したか、また考察しているか。
- ③ 構成力: 表現力: 論旨、文章構成、記述、図表の活用などが研究論文として説得力のある構成・表現となっているか。主査はさらに次の基準について5段階評価を行う。
- ④ 論述及び倫理性: 内容の展開及び議論など、研究発表として読者に配慮した適切なものであるか。

(2) 論文面接審査

・提出された研究報告書毎に審査委員を3名選出する。

・審査委員は(1)の論文審査と同じメンバーとする。

・面接審査は、研究目的、方法、結果、考察及び今後の課題などについて質問し、それに基づき以下の3つの審査基準について5段階評価を行う。

- ① 説明能力: 当該研究の目的、方法、結果、考察、今後の課題を簡潔にかつ説得力をもち説明できたか。
- ② 知識力: 当該研究テーマの考察、分析に必要な学術領域の知識を十分習得しているか。
- ③ 臨床能力: 研究結果が臨床心理学の実践に際して十分応用可能な成果を生み出しているか、また研究報告で取り上げた手法・技能を臨床現場で活かす力は備わっているか。それらについてどのように認識しているか。主査はさらに次の基準について5段階評価を行う。
- ④ 質疑応答: 質疑応答、内容説明が研究発表者として適切な態度であるか。

・審査委員及び日程などの詳細は別途決定する。

スポーツ健康指導研究科

(1) 論文審査

提出された課題研究論文毎に審査委員を2名選出する。当該学生の指導教員以外の1名を主査とし、指導教員を副査とする。

以下の4つの審査基準について5段階評価を行う。

- ① 独自性: 着眼点や仮説などに独創的な要素があるか。
- ② 構成力: 課題設定が明確になっているか。
- ③ 表現力: 論旨・文章構成が説得力のある展開となっているか。
- ④ 論証力: 既存の研究成果をふまえ、調査や資料にもとづいて展開しているか。

(2) 論文面接審査

提出された課題研究論文毎に審査委員を2名選出する。審査委員は(1)論文審査と同じメンバーとする。

面接審査は、研究目的、方法、結果、考察及び今後の課題などについて質問し、それにもとづき上記の①独自性、②構成力、③表現力および

④論証力の基準について、5段階評価を行う。

審査委員及び日程などの詳細は別途決定する。